

取扱説明書

ガスエアークヒーターGAN-5

はじめに

このたびは細山熱器（株）エアークヒーター GAN-5 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みになり、本機の性能を十分に発揮できますようお取扱いをお願いいたします。

取扱・工事説明書の表記

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書及び製品への表示はいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。



表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される場合及び物的障害のみの発生が想定されることを表しています。

必ずお読み下さい

安全に正しくお使い頂くために

このたびはお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みになり、機器の性能を十分に発揮できますよう正しいお取り扱いをお願いいたします。



警告

- 銘板に表示してあるガスグループ名、電源、ガス圧が適合していることを確認して下さい。正常に作動しなくなるばかりではなく不燃焼等事故の原因になります
- 屋内設置型の場合、十分な換気口を必ず設けて下さい。不完全燃焼を起こし一酸化炭素中毒の原因となります。
- ガス臭気を感じたら、すぐに使用をやめガスの元栓を閉じ窓や戸を開けて換気をしガスの供給業者に連絡して下さい。
- ガス漏れが生じた時は絶対に火を付けたり、換気扇や電気器具のスイッチの操作や電源プラグの抜き差しなどはしないで下さい。火花が散り引火、爆発することがあります。
- 機器の設置、移動及び付帯工事はお買い上げ店もしくは専門の業者に依頼し安全な位置に正しく設置して下さい。



注意

- 機器の取り扱い操作は取り扱い説明書に従い正しい手順で行って下さい。
- 取り扱い説明書はお買い上げ店又は弊社でお求めになり身近に保存して必要な時に読めるようにして下さい。
- 機器及びその周囲には燃えやすい物を貼ったり、掛けたり、置いたりしないで下さい。火災の原因になります。
- 機器の分解、修理、改造はしないで下さい。事故や故障の原因になります。
- 濡れた手で操作盤に触れないで下さい。感電することがあります。
- 機器は水の掛かる場所や腐食性ガスの環境、高温（50℃以上）、多湿（90℃以上）及び屋外には設置しないで下さい。故障や事故の原因になります。
- この機器を本来の使用目的以外には使用しないで下さい。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 使用中及び使用後は排気筒、本体、配管等、部分によっては熱くなっていますので手を触れないで下さい。やけどの恐れがあります。
- 機器の周囲には操作、点検、配管などの為のサービス用スペースを設けて下さい。メンテナンスが困難になります。
- 万一異常を感じた場合には、直ちに停止し、正常に復帰後運転して下さい。万一異常を感じた場合には、直ちに停止し、正常に復帰後運転して下さい。

ガスエアーヒータ取扱方法

(運転順序)

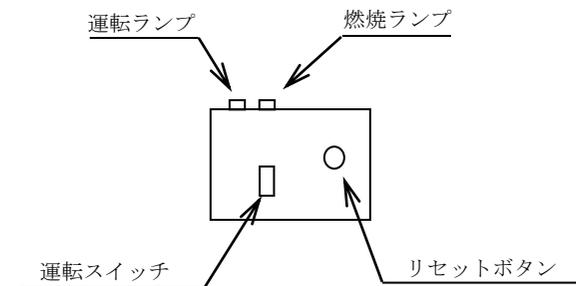
- 1 電源を入れて下さい。
- 2 ガス元コック（区分バルブ）を開いて下さい。
- 3 廻りに異常ガス臭が有りませんか。異常ガス臭が有る場合は、ガス元コックを閉じて原因を究明し完全な状態で運転して下さい。
- 4 運転スイッチを「ON」にします。
運転ランプ（白）が点灯し燃焼ファンが回ります。
約 60 秒後電磁弁が開き、スパークによりガスに点火され、炎が検出されますと燃焼ランプ（橙）が点灯し、正常運転されます。着火不良の場合は、ブザーが鳴ります（この時、電磁弁は閉になっておりますので生ガスは出ません）。その時、運転スイッチを「OFF」にしますとブザーが鳴り止みます。

(消火手順)

- 1 運転スイッチを「OFF」にして下さい。
- 2 ガス元コックを閉め、電源を切って下さい。

(不着火、失火)

- 1 着火失敗又は燃焼中失火した場合は、電磁弁は閉じ、ブザーが鳴ります。運転スイッチを「OFF」にして下さい。
- 2 再点火時は故障原因のチェック修理後、運転スイッチを「ON」にし、リセットボタンを長押しして下さい。
チェック修理を行う時はガス元コックを閉じ、電源を切ってから行って下さい。



問い合わせ、修理依頼は下記にご連絡下さい。

細山熱器株式会社
東京都中央区日本橋茅場町 2-8-7
電話 03 (3249) 0331